

新宮山彦ぐるーぷ第2025回

深仙宿外壁トタン塗装用の塗料・ローラーなど荷揚げと

灌頂堂内の保管セメント残量の調査

◇実施日：2019年06月3日(月) 晴のち曇り

◇参加者：梶野照雄。

1名。

6月2日に予定していた釈迦ヶ岳の荷揚げ作業が降雨のため中止になった。深仙宿避難小屋の外壁トタン塗装も延期になったが、これから梅雨の時期になり、いつ塗装ができるかわからない。塗料やローラーなどの必要材料は全て揃っているので、いつでも作業ができるように深仙宿まで荷揚げした。加えて、昨年の大日岳での補修作業後に、余ったセメント量(灌頂堂内)を確認した。



本日の荷揚げ品

荷揚げ資材が空のコンテナ

協力依頼看板も撤去

今日は深仙宿までの往復だけなので、朝9時過ぎに家を出る。五條市のイオンで昼食とお茶、それにアメリカンチェリーの3点を買って登山口に向かい、11時55分登山口着。

10台ほどが停まっている。モンベルのバンが停まっているの

で、10人を超えるツアーがあるようだ。10分で昼食を済ませ、空になった砂・バラスのコンテナを横に寄せて、協力依頼の看板も撤去する。

40分弱で旧道の分岐に着く。30日に切り落としてベンチ代わりに横に置いた木の位置が変わっていた。また、重くて動かせなかった太い幹が、引っ掛かっていた木から外されていた。



位置が変わっていたベンチ代わりの木

30日の切除状況

この木を動かすには最低でも3人は必要だ。普通の登山者はこれを動かそうとは思わないだろう。30日に浅井證善師のグループ(16名位)が登拝されていたので、彼らが動かしてくれたものと推測。太い幹の部分は、後日3つに切って動かしたいと思う。古田の森で休憩し千丈平は通過した。

千丈平から下り始めると少し下を行者装束の3名が登って来るが見えた。内2名は背負子を背負っているが、荷物は小さい。帰宅してネットで見ると、千丈平で休憩中の3名の写真があり、背負子には荷物が括られていたので、深仙宿まで何かを荷揚げした物と思われる。



花が殆ど無い



ここだけ少し咲いていた



深仙宿到着

深仙宿に下る途中は、5月にはゴウウツツジ、6月にはシロヤシオが咲き乱れるのだが、今年は殆ど咲いていない。花芽があるか探したが、新芽は葉だけで花芽は確認できなかった。

深仙宿に到着し塗料やローラーなどを灌頂堂内にデポ。コンテナを開けてセメントの残量を調査した。

コンテナはセメントが一杯で、30kgを少し超えているようだ。他にもビニール袋の中に3袋。一斗缶はテープでシールされていたので開けなかったが、この中もセメントだとすると総量は60kgを越えると思われる。一人10kgを担いでも最低6人が必要になる、

登山口からのセメント荷揚げ量は、深仙宿灌頂堂内デポの分を差し引いた量で計画すべきだ。

セメント残存量の調査を終え深仙宿避難小屋を見に行く。きれいに掃除されていた。

LED照明5個の中の3個に一部点灯していない物があった。次回に交換の予定。



塗料等はお堂内にデポ



コンテナ満杯のセメント



ビニール袋にも



一斗缶の中は不明



ガスが出てきた



深仙宿を離れる

約20分の滞在で深仙宿を後にする。14時頃からガスがかりだし、釈迦ヶ岳や大日岳の姿は見る事が出来なかった。シロヤシオは全く咲いていなかったが、バイケイソウは葉を大きく広げ始めている。相変わらず鹿の群れが多い。今年生まれたと思われる若いオスは好奇心が旺盛なのか、

一度逃げて再び戻ってくる。メス鹿はすぐに逃げてしまうのだが。



古田の森と旧道の分岐で小休止し、2時間15分で登山口に戻った。

行動タイム

11:55 太尾登山口 12:20→13:37 古田の森→14:16 千丈平→14:45 深仙宿 15:05→15:45 千丈平→16:13 古田の森→17:20 太尾登山口。

(記：梶野)